



教育ニュース 10月

レベル I



夜勤独り立ち、受け持つ患者さんが増えた、報告・連絡・相談する機会が増えた、、、という状況になってきて、多重課題になり、判断に困ることが出てきました。

今回の研修では、①優先順位のつけ方②報連相について学びました。

今日の研修の流れ

- ①多重課題になってこまった経験を振り返る
- ②多重課題とは何か(講義)
- ③多重課題を回避するための準備(講義)
 - 1日の行動計画をたてる
 - 必要なケアの予測を立てる
 - 必要なことを報告(連絡・相談)する
- ④多重課題経験を振りかえり今後のアクションプランがわかる

☑多重課題のパターン(予期可能)

1. 予期できる多重課題

予定されている業務が同時に集中する場合

点滴投与

清拭・ケア

検査・処置

予定入院受け入れ・退院準備

事前に調整することにより、多重課題となることを回避できる

☑多重課題のパターン(予期不可能)

1. 予期できない多重課題

1つの業務を行っている最中に、予定外に別の業務が割り込んでくる場合

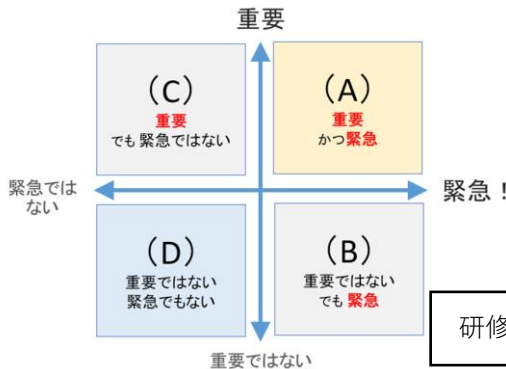
食事介助中に他患者からナースコール

薬剤キシング中に医療機器アラームが鳴る

部屋移動中にオムツをかえてほしいと言われた

時間点滴投与直前に別患者の検査呼び出し

臨機応変な判断、対応が必要になる



多重課題には予期できるものと予期できないものがあります。1日の行動計画をたてて、チームメンバーと調整をしましょう。報連相は『SBAR』を用いて、簡潔に伝わるように行いましょう。

SBAR: 状況→背景→評価→提案



研修後の研修生の声

- ・優先順位を考えることは苦手なので勉強になりました。迷ったときは先輩やリーダーに相談するようにしようと思います。
- ・先輩に状況を伝えて、多重課題に直面した場合、乗り越えて行きたい。SBARを心がけて上手く報告したい。

